

長崎で量子技術について学べる

Nagasaki Quantum Day



—量子技術に関する取り組み最前線

量子技術の最前線が、今、長崎に集う！

量子コンピュータの最新の動向について、国内外の動きや取組事例をご紹介します。

第1部 14:05
-15:15

最新動向・事例紹介



半導体量子コンピュータと
量子機械学習

blueqat株式会社
代表取締役社長
湊 雄一郎



地方におけるデータセンター
の可能性

株式会社長崎再興
代表取締役
甲斐 亮



NEDO量子コンピューティング
事業のご紹介

新エネルギー・
産業技術総合開発機構 (NEDO)
AI・ロボット部 主査
大城 智隆



量子懸賞金事業
地方創生課題を大募集

新エネルギー・
産業技術総合開発機構 (NEDO)
AI・ロボット部 主査
岸本 太郎



物流・交通・製造を変える量子
技術 — 導入プロセスと実装事例

DEVEL株式会社
代表取締役
比嘉 恵一朗



都市デジタルツインの展開と
量子コンピュータへの期待

みずほサーチ&
テクノロジーズ株式会社
サイエンスソリューション部
眞崎 浩一



TOPPANの量子セキュリティへの
取り組み

TOPPANデジタル株式会社
量子・情報科学研究部 部長
鳥羽 牧



量子コンピュータとまちづくり

株式会社社長大
事業戦略推進統轄部
クオタム推進部 部長
高野秀隆



量子人材育成に関する取組み

(一社)
日本量子コンピューティング協会
辰巳 義明

第2部 15:15
-15:55

パネルディスカッション

「2026年までに“役立つ”量子の使いどころ」

—港湾・海運、観光、医療、製造の現場で何を試すか

第3部 16:05
-17:00

名刺交換会／B2B マッチング

第4部 18:00

懇親会 (任意)

会場：長崎駅周辺

会費：5,000円前後

2025 12月15日 (月)

オンライン・現地 ハイブリッド開催

時間 14:00～17:00 13:30 (受付開始) 定員 25名

場所 〒850-8570 長崎県長崎市尾上町3-1 長崎県庁1階協働エリア

※オンラインで参加をご希望の方は参加申込後にYouTube Live 視聴用URLが送付されます。

参加申込はコチラ

参加無料



申込締切 2025年12月10日

主催：一般社団法人日本量子コンピューティング協会
後援：長崎県 (予定)

問い合わせ先

E-mail : info@jqca.org

登壇者ご紹介

半導体量子コンピュータと量子機械学習



blueqat株式会社
代表取締役社長

湊 雄一郎

東京都生まれ。東京大学工学部卒業。隈研吾建築都市設計事務所を経て、2008年にMDR（現blueqat）株式会社設立。2015年総務省異能vation最終採択、2017~19年内閣府imPACT山本プロジェクトPM補佐、2019~2021年文科省ささげ量子情報領域アドバイザー、2022年~SEMI量子コンピュータ協議会委員長を務める。

地方におけるデータセンターの可能性



株式会社長崎再興
代表取締役

甲斐 亮

長崎を拠点にインフラエンジニアとしてサーバ・ネットワーク構築運用に携わりつつ、大学非常勤講師として情報リテラシーやビジネスICTを担当。株式会社長崎再興代表取締役社長 / Sonicwave代表として、中小企業のDX・業務改善と地域の課題解決に取り組んでいます。

NEDO量子コンピューティング事業のご紹介

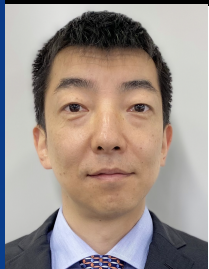


新エネルギー・
産業技術総合開発機構（NEDO）
AI・ロボット部 主査

大城 智隆

山形県出身 中央大学商学部卒業。2024年日本電気株式会社スマートシティ事業統括部から、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構に出向。AI・ロボット部 量子ユニットで量子ユースケース事業開発を担当。一般社団法人スマートシティ・インスティテュート SCIフェロー

量子懸賞金事業地方創生課題を大募集



新エネルギー・
産業技術総合開発機構（NEDO）
AI・ロボット部 主査

岸本 太郎

千葉県生まれ。東京大学農学生命科学研究科修了。田辺三菱製薬株式会社にてタンパク質研究に従事。東京医科歯科大学にて博士（医学）取得。2023年より国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構に出向。量子懸賞金事業およびPSG量子産業化事業を担当。

物流・交通・製造を変える量子技術 — 導入プロセスと実装事例



DEVEL株式会社
代表取締役社長

比嘉 恵一郎

九州大学大学院にて量子アルゴリズムを研究し、在学中に量子ソフトウェア開発企業を創業。アニーリング方式とゲート方式の双方を活用し、物流・交通・製造などの現場課題に対して新規アルゴリズムの設計からアプリケーション開発まで一貫して実施。量子計算の産業実装に向けた実践的な技術開発を進めている。特に大規模組合せ問題や経路探索、シミュレーションなど、地域インフラや産業構造に直結する領域への適用に注力し、企業の量子技術導入を支援している。

都市デジタルツインの展開と 量子コンピュータへの期待



みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
サイエンスソリューション部

眞崎 浩一

福岡県出身。九州工業大学大学院修了。博士（情報工学）。2008年にみずほ情報総研（現・みずほリサーチ&テクノロジーズ）に入社し、低次元分野の確率論的解析などに従事。2019年より都市デジタルツインの技術開発や事業化を担当。都市データを自動的に連携し、都市全体をモデル化する技術の開発を進める「都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合」に理事として参画し、これらの技術の社会実装を推進している。

TOPPANの量子セキュリティへの取り組み



TOPPANデジタル株式会社
量子・情報科学研究部 部長

鳥羽 牧

大阪府生まれ。京都大学大学院情報学研究科 博士後期課程 単位取得退学。専門は機械学習。2001年に凸版印刷株式会社に入社、システム開発等に従事。経営企画本部を経て、経団連21世紀政策研究所、内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）に出向。2020年から量子技術を活用した研究開発・事業開発を開始。2025年から現職にてAIを含む量子・情報科学研究を担当。

量子コンピュータとまちづくり



株式会社長大
事業戦略推進統轄部
クオンタム推進部 部長

高野秀隆

兵庫県生まれ。千葉大学大学院修了。都市計画や不動産業界、IT企業創業を経験。2020年より(株)長大で量子技術による新規事業企画を担当し、2021年にクオンタムシティプロジェクトを開始。2022年に(株)長大クオンタム推進部部長、東北大学特任准教授、Q-STARクオンタムシティ推進部会長就任。2023年に(一社)日本量子コンピューティング協会代表理事就任。2024年に(一社)日本生成AI協会代表理事就任。2025年に山梨市クオンタムシティ推進プロジェクトCOO就任。

量子人材育成に関する取組み



一般社団法人日本量子コンピューティング協会
イノベーションエグゼクティブ・認定講師

辰巳 義明

大学中退後、ヘルステックなどテクノロジー領域への投資を本格的に開始。ITやAIなどの技術トレンドの調査と企業分析を通じて視野を広げる中、量子コンピューティングに強い関心を持ち独学を進める。2025年7月の量子ジェスラリストおよび量子エンジニア（ゲート式）エントリーコースの資格取得を起点に、企業の量子技術事業実装支援を始動。同年9月より企業量子技術外部顧問も兼任。